



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 焼津水産化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2812 URL https://www.yskf.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 潤  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部 経理部長 (氏名) 大勝 利昭 (TEL) 054-202-6044  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	11,116	△3.3	591	△18.3	618	△19.3	238	10.5
2020年3月期第3四半期	11,496	△6.5	723	5.9	766	8.5	216	△53.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 477百万円(188.3%) 2020年3月期第3四半期 165百万円(△53.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	19.46	—
2020年3月期第3四半期	17.62	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	22,821	19,725	86.4
2020年3月期	22,295	19,533	87.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 19,725百万円 2020年3月期 19,533百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2021年3月期	—	10.00	—		
2021年3月期(予想)				14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,800	△7.5	670	△18.7	690	△22.2	110	△65.2	8.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	13,056,198株	2020年3月期	13,056,198株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	780,995株	2020年3月期	789,115株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	12,271,413株	2020年3月期3Q	12,267,123株

(注) 期末自己株数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定上控除する自己株式には、監査等委員でない取締役(社外取締役を除く)への株式報酬制度のために設定した信託口が保有する当社株式数が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(四半期連結貸借対照表に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により様々な活動が制限される状況が継続するなかで、感染拡大防止策を講じながら経済活動のレベルを引き上げてきたことにより、徐々に持ち直しの動きがみられました。しかしながら、年末にかけて再び感染症拡大の傾向となり、依然として先行きは厳しい状況です。

食品業界では、消費者のライフスタイルの変化等を受け、内食は底堅く推移しているものの、外食需要は依然として低迷しており、厳しい経営環境が続いています。

このような環境のなか、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減を図りながら、顧客の信頼回復と品質保証体制の抜本的見直しを進めるとともに、工場の生産体制の見直しに取り組んできました。

連結売上高につきましては、前連結会計年度における不正表示問題の影響や今般の新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う販売活動への制約等により、111億16百万円（前年同期比3億80百万円、3.3%減）となりました。利益面につきましては、経費削減に努めたものの売上高が減収となったほか売上構成の変化に伴い利益率が低下したことから、連結営業利益は5億91百万円（同1億32百万円、18.3%減）となりました。また、連結経常利益は、6億18百万円（同1億48百万円、19.3%減）となったほか、工場集約計画の中止に伴う減損損失2億41百万円及び不正表示に係る品質関連損失44百万円（前年同期比4億2百万円減）を特別損失に計上したことから親会社株主に帰属する四半期純利益は2億38百万円（同22百万円、10.5%増）となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (調味料)

調味料は、主に加工食品メーカー向けの液体調味料や粉体調味料の製造販売及び各種香辛料の製造販売に関するセグメントです。前連結会計年度における不正表示の影響や新型コロナウイルス感染症拡大の影響に伴う販売活動への制約等により、液体調味料、粉体調味料、香辛料ともに売上が減少しました。その結果、調味料セグメントの売上高は、52億30百万円（前年同期比5億61百万円、9.7%減）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費が減少したものの売上高の減少により5億12百万円（同1億39百万円、21.4%減）となりました。

#### (機能食品)

機能食品は、機能性食品素材及び機能食品の製造販売に関するセグメントです。機能食品は市場環境の変化により主力商品の苦戦が続いており売上が伸ばすことが出来なかったものの、機能性食品素材は注力素材であるアンセリンで機能性表示食品の新規採用が進んだほか既存取引先商品の売上増により機能性食品素材の売上が増加しました。その結果、機能食品セグメントの売上高は、20億76百万円（同12百万円、0.6%減）となりました。セグメント利益は、販売費及び一般管理費が増加したものの売上構成の変化に伴う利益率改善により、5億49百万円（同45百万円、9.0%増）となりました。

#### (水産物)

水産物は、冷凍鮪・冷凍鯉の原料販売及び加工製品の製造販売に関するセグメントです。新型コロナウイルス感染症拡大による消費低迷の影響もある中で、外食向け「AIマグロ」の販売伸長、韓国向け海外販売の回復、本鮪・南鮪等高額商材の加工販売の増加等により売上が増加しました。その結果、水産物セグメントの売上高は、30億5百万円（同2億86百万円、10.5%増）となりました。セグメント利益は、原料価格の上昇や外注加工費増加等による売上原価率上昇により、0百万円（同52百万円、98.2%減）となりました。

#### (その他)

その他は、化粧品通信販売及びその他商品の販売に関するセグメントです。化粧品通信販売及びその他商品の販売が共に伸び悩み、その他セグメントの売上高は、8億4百万円（同92百万円、10.3%減）となりました。セグメント利益は、売上高の減少により32百万円（同0百万円、0.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産の総額は、前連結会計年度末に比べ5億25百万円増加し、228億21百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が2億40百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が7億74百万円、商品及び製品が1億43百万円増加したこと等により5億78百万円増加し、151億96百万円となりました。

固定資産は、工場集約計画の中止に伴う減損損失を計上したほか期中の減価償却が設備投資を上回り有形固定資産が4億26百万円減少した一方、保有株式の時価の上昇により投資有価証券が3億45百万円増加したこと等により52百万円減少し、76億24百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が2億11百万円増加したこと等により2億28百万円増加し、26億77百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債が1億円増加したこと等により1億5百万円増加し、4億17百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益が2億38百万円となった一方、配当金の支払い2億95百万円により利益剰余金が56百万円減少した一方、その他有価証券評価差額金が2億38百万円増加したことにより1億92百万円増加し、197億25百万円となりました。

この結果、自己資本比率は86.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年12月18日に発表いたしました通期の業績予想の数値から変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,098,849	8,858,271
受取手形及び売掛金	3,114,562	3,888,991
商品及び製品	809,465	953,448
仕掛品	109,457	74,777
原材料及び貯蔵品	1,428,437	1,361,924
その他	58,472	59,854
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	14,618,245	15,196,267
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,892,191	1,571,865
機械装置及び運搬具(純額)	786,554	680,987
土地	2,603,175	2,603,175
リース資産(純額)	2,652	863
建設仮勘定	—	2,035
その他(純額)	68,948	67,879
有形固定資産合計	5,353,523	4,926,807
無形固定資産	81,718	76,683
投資その他の資産		
投資有価証券	1,867,373	2,213,116
退職給付に係る資産	185,351	225,312
繰延税金資産	12,628	10,562
その他	180,709	176,704
貸倒引当金	△4,321	△4,321
投資その他の資産合計	2,241,740	2,621,375
固定資産合計	7,676,982	7,624,865
資産合計	22,295,227	22,821,132

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,044,501	1,255,867
短期借入金	700,000	750,000
リース債務	2,501	932
未払法人税等	54,351	35,911
未払消費税等	29,663	17,723
賞与引当金	130,857	88,893
役員賞与引当金	—	13,747
その他	487,839	514,859
流動負債合計	2,449,713	2,677,935
固定負債		
リース債務	363	—
繰延税金負債	263,106	363,870
退職給付に係る負債	21,391	29,760
役員株式給付引当金	27,306	23,893
固定負債合計	312,167	417,524
負債合計	2,761,881	3,095,459
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,617,642	3,617,642
資本剰余金	3,422,547	3,422,856
利益剰余金	12,601,882	12,545,707
自己株式	△783,151	△773,462
株主資本合計	18,858,920	18,812,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	674,424	912,929
その他の包括利益累計額合計	674,424	912,929
純資産合計	19,533,345	19,725,673
負債純資産合計	22,295,227	22,821,132

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	11,496,995	11,116,813
売上原価	8,800,065	8,614,759
売上総利益	2,696,930	2,502,053
販売費及び一般管理費	1,973,037	1,910,331
営業利益	723,893	591,721
営業外収益		
受取利息	276	854
受取配当金	33,625	37,724
受取賃貸料	13,442	13,343
補助金収入	17,860	15,046
その他	17,273	20,748
営業外収益合計	82,477	87,717
営業外費用		
支払利息	1,659	1,515
損害賠償金	303	16,625
減価償却費	25,934	24,031
その他	12,094	19,152
営業外費用合計	39,991	61,324
経常利益	766,379	618,114
特別利益		
保険収益	4,357	5,250
特別利益合計	4,357	5,250
特別損失		
固定資産除却損	2,995	3,676
災害損失	19,339	31
減損損失	—	241,428
品質関連損失	446,729	44,440
特別損失合計	469,063	289,576
税金等調整前四半期純利益	301,672	333,788
法人税等	85,419	94,912
四半期純利益	216,252	238,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	216,252	238,876

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	216,252	238,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△50,652	238,504
その他の包括利益合計	△50,652	238,504
四半期包括利益	165,600	477,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	165,600	477,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表に関する注記)

(偶発債務)

前連結会計年度において当社製品の一部における不正表示（以下「本事案」）が判明したことに伴い、本事案に関する費用について、可能な範囲において品質関連損失に計上しています。今後も本事案に関する費用が発生する可能性があります。現時点ではその影響額を合理的に見積もることが困難なため、四半期連結財務諸表には反映していません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I. 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,792,089	2,088,779	2,719,015	10,599,885	897,110	11,496,995	—	11,496,995
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	12,118	12,118	—	12,118	△12,118	—
計	5,792,089	2,088,779	2,731,133	10,612,003	897,110	11,509,113	△12,118	11,496,995
セグメント利益	652,253	504,112	53,769	1,210,135	33,049	1,243,184	△519,291	723,893

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△519,291千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II. 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
	調味料	機能食品	水産物	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	5,230,622	2,076,745	3,005,133	10,312,501	804,311	11,116,813	—	11,116,813
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	13,675	13,675	—	13,675	△13,675	—
計	5,230,622	2,076,745	3,018,809	10,326,177	804,311	11,130,489	△13,675	11,116,813
セグメント利益	512,850	549,240	959	1,063,049	32,748	1,095,798	△504,076	591,721

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他商品等であります。  
 2. セグメント利益の調整額△504,076千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務、経理部門等管理部門に係る経費であります。  
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各報告セグメントに配分していない全社資産に計上していた建物等について、工場集約計画中止に伴い減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては241,428千円であります。